

離島環境検査報告

離島学校環境衛生検査に行ってきました

学校保健委員会 委員長 町田 亘

鹿児島市薬剤師会では毎年、十島村7学園、三島村4学園への学校薬剤師派遣事業を実施しています。今年度も担当学校薬剤師がそれぞれの学園に訪問し、環境衛生検査や講話を行う予定となっています。船で島へ渡り児童生徒に会いに行く離島での学校薬剤師活動は違った発見があり視野も広がりますので、たくさんの学校薬剤師の先生方に興味を持っていただきたいと考えています。私は悪石島の悪石島学園の担当で10月8日火曜日に訪問してきました。今回の訪問の様子をご紹介します。

出発は、前日の月曜日午後11時に「フェリーとしま2」に乗り鹿児島港を出航します。島への到着は午前5時の口之島から約1時間ごとに各島の港に寄港し、最後の宝島にはお昼12時ごろ到着します。(船はそのまま奄美の名瀬港に向かいます) 私は担当の悪石島に午前9時30分ごろ到着し、教頭先生が出迎えてくださいました。

悪石島学園には9名の小学生と6名の中学生が在籍しています。今回は小学低学年に「薬剤師のお仕事と正しい薬の使い方」、小学高学年に「喫煙防止教室」、中学生に「薬物乱用防止教室」の講話を行い、島民の方に「薬物乱用について」をテーマに社会教育学級を行いました。島には高校がなく中学卒業後、島(親元)を離れる生徒もいるので、薬物乱用防止について保護者と情報を共有することは有意義なことと考えています。

お昼は子どもたちと一緒に給食をいただき、夕方環境衛生検査を行いました。業務が全て終わり、宿泊場所の民宿に歩いて向かうころはだんだんと日が沈み始めています。帰り道、心地よい風が吹く中、自然の音しか聞こえず、夕日に照らされる雄大な島の風景を眺めることができるのは、離島を訪れる醍醐味ではないかと思います。

翌日朝、民宿で朝食をいただいた後、朝6時30分に再び学校へ行き水質検査用の検体を採水し港に向かいます。午前7時30分に鹿児島港行きのフェリーに乗船し、夕方帰りついたら検体を試験センターに届けて業務は終了となります。

離島の良さは時間がゆっくり流れるところです。島で行うスケジュールは一杯で、体に疲労は感じますが、心の疲労は逆に解消されるような気もします。ゆっくりとした穏やかな島の環境は子供たちのハツラツとした明るさや、年上の子が年下の子を見守る優しさにも表れているように感じます。

継続的な離島での学校薬剤師活動は学校のみならず島の衛生環境向上にも役立っていると感じています。今年度も途中ですが全島訪問を完了できるように準備を整え、今後の事業継続につなげていきたいと考えています。最後にこの事業にご協力いただきました先生方に心より感謝申し上げます。



小学高学年生への講話



島の景色は雄大です